

第8回 立川市新校舎建設マスタープラン検討委員会

日時 : 平成29年2月16日(木) 18:00~20:00

場所 : けやき台小学校 視聴覚室

出席者 :

【検討委員会委員】 □長澤委員長 □富永副委員長 ■菅原委員 □小林委員 ■佐藤委員

■須崎委員 ■星野委員 ■大野委員 ■藤縄委員

■山田委員 ■堀江委員 ■白井委員 ■栗原委員 (教育部長)

■吉岡委員 ■宮城委員 ■飯塚委員 ■梅津委員

【市職員】 ■小林課長 (施設課) ■田村課長 (学務課) ■神崎課長 (子ども育成課)

□小瀬課長 (指導課) ■矢ノ口課長 (教育支援課)

【事務局】 ■庄司課長 (教育総務課) ■中島 (教育総務課)

【策定支援業者】 (株)豊建築事務所 ■田中 ■奥澤 ■高柳 ■表 (以下敬称略)

開催に当たって

- ・配布資料の確認を行った。
- ・委員長、副委員長欠席に伴い、進行役を菅原委員とした。

1 新校舎建設マスタープランの策定期間について

- ・事務局から、新校舎建設マスタープランは3月17日金曜日までに策定するよう進めているとの説明を行った。

2 新校舎建設マスタープラン(案)について

- ・策定支援業者から、新校舎建設マスタープラン(案)2章、3章について説明を行った。

<主な意見>

【J委員】 絵の中に記載のある、赤い線はコミュニティーバスの線だと思うが、現在の状況と異なるため修正をお願いしたい。

【栗原委員】 児童数・クラス数等について、基準日を統一するようにしてほしい。

【J委員】 敷地周辺の公共施設について、まんべんなく掲載する等調整を行ってほしい。

【K委員】 公共施設を紹介するページに、民間の施設も含まれているため掲載内容

を整理してほしい。

【N委員】 学校の特色や写真等については、再度打ち合わせをお願いしたい。

【委員長代理】 若葉小学校を紹介する写真は、普通教室の写真がない等の偏りがあるので、調整してほしい。

【委員長代理】 4-2のコンセプトと計画にあたっての意見については、子どもたちのスケッチをこのページに入れることで、子どもたちの意見も取り入れたことが伝わってくるのでよいと思う。

3 基本理念と計画の方針について

・策定支援業者から、新校舎建設マスタープラン（案）4章について説明を行った。

<主な意見>

【J委員】 図工室には、制作途中の作品保管場所や完成作品の展示場所を確保すると書いてあるが、どのぐらいのボリュームが要るか確認をお願いしたい。全校生徒の一人一人にある一定のスペースがあるということを考慮して配置を考えた方がよいと思う。

【委員長代理】 写真をたくさん載せているため、イメージは湧くが、あくまでイメージ写真であることについて記載しておく必要があると思う。また、理科室の計画の中だけにプログラミング教育を入れてあるが、今はタブレットが1つあれば普通教室でもプログラミング教育はできるのではないかと思うので、理科室のみに記載する必要はないと思う。

【I委員】 英語教育も小学校3年生から始まるようになる。それに対応した教室づくりをしてもらいたい。

【O委員】 伐採した既存樹木を活用して、再度活用することは、いいアイデアだなと思う。記念樹というのは、けやき台小学校と若葉小学校の両校にあるので、両校の歴史が大切にされているというようなことが実感できる取り組みにしてもらいたい。

【Q委員】 防災拠点の記載の中で、要配慮者と災害時要援護者について適切な表記になるよう注意してほしい。

【F委員】 子どもの学校づくりについての案ということだが、ドングリの企画は平

成29年3月現在の3年生から5年生を対象にするとか、記念タイル作成については3・4年生を対象にするとか、学年を限定した理由がわからないのですが。

【策定支援業者】 ドングリの企画については、今年の秋にドングリを拾うとすると今の6年生はもう卒業してしまっているのです、5年生以下からということで、仮に3年生から5年生とした。記念タイルについては、作成することができる年齢で考えた。

【F委員】 対象を設定しなくてもよいと思う。

【委員長代理】 対象を仮に設定せずに、整理をお願いしたい。

4 配置計画と施設構成について

- ・策定支援業者から新校舎建設マスタープラン(案)6章の1、2について説明を行った。
- ・前回からの修正点について説明を行った。
- ・模型を囲み、ゾーニングイメージを共有した。

<主な意見>

～以下模型を囲んで～

【策定支援業者】 アプローチに面して作品展示を設けることで、展示スペースの確保と同時に地域のシンボルになるという意味も含めて、広場から学校の雰囲気が見える空間を造ることで、学校らしさが出るのではないかと考えている。

【F委員】 校舎の話とは全然違うけれど、狭隘道路の所に、何か設けましょうという話が出ていたと思う。植樹みたいな感じでイメージが入っているが。

【策定支援業者】 北側のアプローチの部分については、ポール等や植栽を施し歩道に車が乗り入れられないようにする計画である。

～以上～

【委員長代理】 学童保育所を利用される方の送迎の車も南側に設置する駐車場を利用してもらおうことになるのか。

【神崎課長】 学童保育所は、基本的に送迎で車は使えない方針である。

【委員長代理】 教職員用の駐輪場30台程度とあるのですが、PTAの方の駐輪はどのような対応になるのか。

【事務局】 運動会や公開授業などの行事では、多くの自転車の置場となる。その際に学校敷地内において、臨時的なスペースが提供できるようにしたいと考えている。

【P委員】 駐車場について、保護者の方の駐車場は校庭の南側とのお話ですが、たんぼぼ学級のお子さんを保護者の方が送って来られるケースもあるが、その車を置くスペースは、この北側のこの4台のスペースのところに一時的に入ることができるという考えでよいか。

【栗原委員】 駐車については、正門前の歩車分離により児童の安全性向上を図るため、たんぼぼ学級の送迎の車も南側の駐車場を利用させていただくという考えもある。今後の検討課題である。

【委員長代理】 駐車については運用で対応する面があると思うので、車椅子用、給食搬入用、備品搬入用、加えて臨時用という記載を行い、少しフレキシブルに使えるような部分を残しておいてはいかがか。

- ・策定支援業者から、新校舎建設マスタープラン（案）6章の3から6章の6について説明を行った。

<主な意見>

【J委員】 耐震性（Ⅱ類、A類、乙類）の表現が、一般的になじみのない言葉である為、例えば震度7などの表現に変わらないか。

【委員長代理】 Ⅱ類、A類、乙類の説明文をうまく組み合わせてわかりやすく表現する工夫をしてほしい。

【H委員】 初動活動期、防災計画のトイレの話は前回伺った。1階のトイレも使用できるとよいという話をさせていただいた。図面を見ると、一応一次避難中のトイレが使えるようになっていますが、これは電気がなくても使えるトイレとして考えてよいか。

【策定支援業者】 今後の基本設計などで詳細について検討していきたいと考えている。ただし基本的な考え方として、一次避難所のエリアにトイレがあるということ、マスタープランの中では位置づけておくというのが大事と考えている。

【Q委員】 防災計画の中で、暗闇にならない程度の非常用照明とあるのですが、具

体的にはどういふものでしょうか。

【栗原委員】 大規模改修工事を実施している学校には、ガソリン発電機とディーゼル発電機を配置している。今回の新校舎建設においても、大規模改修工事と同様な発電機を導入するようなことを、今後検討していきたいと考えている。

【Q委員】 暗闇になると、避難所は事故と同時に事件が起こるといふうに言われているので、そこは十分配慮していただけたらと思う。

【委員長代理】 非常用の電源とあるのは具体的にどこまで確保するのか、市の防災計画と照らし合わせて、非常用照明の件は調整をしていただければと思う。

みんなに愛される学校を目指すといふところだが、アプローチ空間といふ、いわゆる学校の顔にあたる部分を工夫することが大切だと思ふ。子どもたちが気持ちを弾ませられるといふことに加えて、地域の方々も子どもたちの様子が伺えるとか、地域の方々も、保護者も含めて、先生も含めて、先生も学校に来たいと思ふような、愛せるような、そのようなことも少し添えてみるのもよいのではないかと思ふ。

【O委員】 外から自由に見ることができるといふのは、子どもの安全を守るといふことと相反する部分があるので、見えればいいといふものではないので、その辺は配慮をした形にしてもらいたい。

5 その他 次回の検討委員会について

・第9回新校舎建設マスタープラン検討委員会

日程：平成29年3月8日（水） 午後6時～8時 会場：けやき台小学校